

演題ID	演題番号	採択セッション	開始時刻	終了時刻	演題名
a90051	PL1-1	プレナリーセッション	8:30	9:20	分子標的薬のシークエンシャル治療 ～プロベンシテリスコアマッチングとサブグループ解析～
a90037	PL1-2	プレナリーセッション	8:30	9:20	進行肝細胞がんに対するシークエンシャル療法の実績
a90039	PL1-3	プレナリーセッション	8:30	9:20	進行肝細胞癌患者におけるレンパチニブ治療後の後治療の現状
a90014	PL1-4	プレナリーセッション	8:30	9:20	根治切除不能肝細胞癌に対する減量肝切除/分子標的薬 sequential治療についての検討
a90005	PL2-1	プレナリーセッション	9:30	10:20	治療後cell-free DNA解析による分子標的薬の治療効果予測
a90060	PL2-2	プレナリーセッション	9:30	10:20	進行肝癌多剤薬物療法の成績
a90047	PL2-3	プレナリーセッション	9:30	10:20	肝細胞癌症例に対するレンパチニブのetiology別にみた宿主免疫の変動
a90025	PL2-4	プレナリーセッション	9:30	10:20	Stem cell/Immune exhausted subclassマウス肝がんの特性解析
a90059	PL3-1	プレナリーセッション	16:35	17:25	肝細胞癌における微小環境下での腫瘍免疫とがん代謝の意義
a90024	PL3-2	プレナリーセッション	16:35	17:25	針生検サンプルを用いた進行肝細胞癌の腫瘍微小環境へのアプローチ
a90040	PL3-3	プレナリーセッション	16:35	17:25	切除不能肝細胞癌におけるアテゾリズマブ(Atezo)+ペバシズマブ(Bev)療法に関する日本人集団の検討-IMbrave150部分集団解析-
a90026	PL3-4	プレナリーセッション	16:35	17:25	Novel regimen tremelimumab (T) + durvalumab (D) for patients (pts) with unresectable hepatocellular carcinoma (uHCC): Efficacy and safety
a90061	P-1	ポスターセッション	—	—	レンパチニブを投与した肝細胞癌症例の抗腫瘍効果判定基準における判定医間一致率の検証
a90042	P-2	ポスターセッション	—	—	Lenvatinib治療効果予測におけるM2BPGiの有用性
a90010	P-3	ポスターセッション	—	—	筋肉量はレンパチニブが投与された肝細胞癌例における予後決定因子である：inverse probability weighting法を用いた検討
a90057	P-4	ポスターセッション	—	—	肝細胞癌におけるレンパチニブ使用時のサルコペニアの意義の検討
a90048	P-5	ポスターセッション	—	—	切除不能肝細胞癌に対するレンパチニブの治療成績： サルコペニア関連因子に注目して
a90008	P-6	ポスターセッション	—	—	肝細胞癌術後再発に対するレンパチニブ使用の検討
a90022	P-7	ポスターセッション	—	—	レンパチニブ治療を受ける進行肝がん患者の臨床経過予測におけるHRQOLの意義
a90031	P-8	ポスターセッション	—	—	保険薬局におけるレンパチニブ服用患者に対する テレフォンプォロアップの有用性
a90032	P-9	ポスターセッション	—	—	切除不能な肝細胞癌患者に対するレンパチニブの多施設観察研究 -中間報告-
a90062	P-10	ポスターセッション	—	—	超高度進行肝癌に対するLenvatinibの治療成績と適応に関する検討
a90023	P-11	ポスターセッション	—	—	進行肝癌に対する分子標的薬と肝動注化学療法の治療成績に基づく住み分け
a90036	P-12	ポスターセッション	—	—	Intermediate-stage肝細胞癌の最適初回治療はTACEかレンパチニブか？
a90017	P-13	ポスターセッション	—	—	BCLC-intermediate stage肝癌に対するレンパチニブの治療成績
a90007	P-14	ポスターセッション	—	—	肝細胞癌のintermediate stageにおける Lenvatinib-TACE/RFA併用療法の有用性の評価
a90050	P-15	ポスターセッション	—	—	進行肝細胞癌に対するレンパチニブのSequential TACE症例の検討
a90052	P-16	ポスターセッション	—	—	切除不能肝細胞癌に対する1次治療レンパチニブの 市販後治療成績およびPD後の予後解析
a90002	P-17	ポスターセッション	—	—	レンパチニブfailure後治療におけるアンメットニーズを考える～IPWを用いた検討～
a90009	P-18	ポスターセッション	—	—	レンパチニブ投与例における予後因子と追加治療の意義
a90011	P-19	ポスターセッション	—	—	レンパチニブ治療後にconversion手術を施行し得た肝細胞癌症例の検討
a90056	P-20	ポスターセッション	—	—	進行肝細胞癌に対するレンパチニブを用いたConversion surgeryの試み
a90054	P-21	ポスターセッション	—	—	進行肝細胞癌に対する一次治療レンパチニブ不応 /不耐後二次治療としてラムシルマブを投与した症例の検討
a90035	P-22	ポスターセッション	—	—	進行肝細胞癌に対するラムシルマブの治療成績：多施設共同研究
a90049	P-23	ポスターセッション	—	—	肝細胞癌に対する適切なソラフェニブ・レゴラフェニブシークエンス治療
a90055	P-24	ポスターセッション	—	—	遠隔転移のない多発肝細胞癌に対して、動脈化学塞栓療法、 放射線療法と早期からの分子標的治療薬を導入した集学的治療が奏功した1例
a90029	P-25	ポスターセッション	—	—	脈管侵襲を認める進行肝癌に対してレンパチニブを含めた 集学的治療で長期生存を認めた一例
a90021	P-26	ポスターセッション	—	—	LenvatinibとRFAを組み合わせ長期生存が得られたVp3を伴う多発肝細胞癌の一例
a90044	P-27	ポスターセッション	—	—	右大脳鎌髄膜腫を合併した進行肝細胞癌にレンパチニブが著効した1例
a90020	P-28	ポスターセッション	—	—	肝細胞癌に対するLenvatinibとAngiotensin- II 受容体阻害薬(ARB)の併用効果
a90030	P-29	ポスターセッション	—	—	肝細胞癌におけるSorafenib耐性獲得機序に関する検討
a90034	P-30	ポスターセッション	—	—	ジアシルグリセロールキナーゼα阻害剤と免疫チェックポイント阻害剤の 併用による抗腫瘍効果の亢進
a90063	P-31	ポスターセッション	—	—	進行肝細胞癌に対する集学的治療 -分子標的治療薬使用によるConversion Surgery-